

# ハノイ市で舗装技術セミナー

## 基盤整備と環境保全を両立

大成ロテック

大成ロテックは11月27

日にベトナム・ハノイ市でベトナム交通運輸大学と共催の舗装技術に関するセミナーを開催した。ベトナム交通運輸省、ベトナム道路総局、在ベトナム日本大使館などからの来賓のほか、道路管理者、大学関係者、民間企業などから60人を超える



聴講者が来場した。

セミナーの冒頭、西田義則社長は写真①は「本セミナーで紹介する技術をベトナムで広く普及させることで、舗装の維持管理に貢献していきたい。現在取り組んでいるアスファルトプラントによる舗装再生技術の事業化も加速させ、社会基盤整備と環境保全の両面から、より一層ベトナムに貢献していききたい」と挨拶した。

セミナーでは、ベトナム道路総局のレ・ホン・ディエップ維持管理局長より、ベトナムの維持管理の現状に関する基調講演の後、同社から①同社が開発した道路の乗り心地指標であるIRIを測定する装置「STAMP

ERI」を使用し、現在ベトナム交通運輸大学と実施している「ベトナムにおける舗装マネジメント技術の実用化に関する共同研究」の現状報告②日本の舗装維持修繕技術の紹介③日本の舗装構造診断技術の紹介を行った。また、大成建設の技術センターより、同社の建設技術が紹介され、ベトナム市場への参入推進における大成建設との連携強化をアピールした。

さらに技術のデモンストラーションでは、実際に車両に取り付けたIRI計測装置の「STAMP PERI」、舗装構造診断に使用する機材「小型FWD」、舗装の補修材料である高耐久型常温混合材の「TRミックスアクア」の実演を行い、ベトナムの道路管理者らとの活発な質疑応答が行われた。